

【様式22】

提 案 の 概 要

施設名：中村公園

団体名：岩間造園株式会社

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

中村公園の公園特性

- ①歴史的資源：秀吉・清正の生誕地、近代和風木造建築として価値の高い記念館・桐蔭茶席、造園の大家本多静六による公園設計
- ②緑地としての価値：大径木の樹林地、豊国神社と一体化した緑地、フジ棚
- ③立地・地域性：「九の市」の賑わい、豊国神社太閤まつり、中村公園夏まつり、隣接する中村公園文化プラザ、中村スポーツセンターとの連携
- ④防災：名古屋市の「広域避難場所」

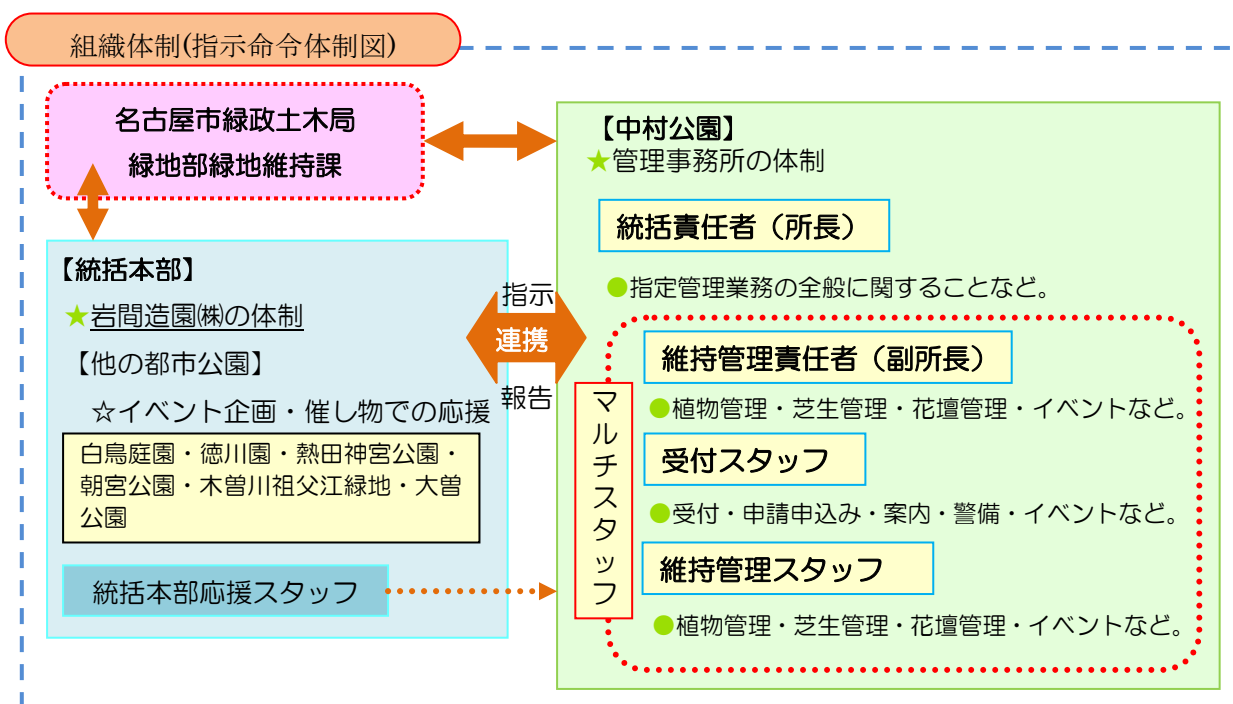
当社は、上記の公園特性をふまえ、管理運営方針を次に掲げています。

<管理運営方針>

1. 中村公園の歴史の保存と継承、再生に向けた新たな活用方法を提案します。
2. 豊富な樹種と樹冠で形成された居心地の良い空間づくりに努めます。
3. 地域や市民ボランティア、企業や外部の専門家との協働による新たな価値の創造にチャレンジし、利用者層の新規開拓に努めます。

②管理運営体制

<組織・人員の配置・体制>



<職員の人材教育>

当社は、施設の設置目的の把握と市民の平等な利用を確保、市民ニーズに応じたより良いサービスと管理運営コストを低減するため、優れた人材の育成を目指し、研修への積極的な働きかけに努めます。

◆岩間造園の独自研修（一例）

接遇講習、技術研修（植物管理・造園技術・環境教育・遊具点検研修）、緊急時対応、市民協働、コンプライアンス教育、パークマネジメント研修

◆中村公園の魅力を高める人づくり・仕組みづくり

「松の剪定技術」「雪吊り技術」の実践と研修（当社指定管理物件の白鳥庭園・徳川園にて実施）を積んだ技術者や、「文化財庭園保存技術者協議会」にて伝統的な造園技能・精神性を学んだ社員と、公園スタッフとの合同勉強会を実施し、中村公園の「大正天皇お手植えの松」や桐蔭茶席・豊頌軒の庭の維持管理に役立てます。

<施設の安全管理>

- 「公園みだしなみチェック」「アメニティー巡回」：毎日午前・午後
- 遊具の定期点検：月1回、業者による点検：年1回、他公園スタッフとの合同点検・勉強会
- 園内樹木の倒木危険度点検：年4回、樹木医による健康診断：適宜

<緊急時・事故発生時の対応>

- 「お客様とスタッフの安全を第一」に、定期的な訓練を消防署等との連携により実施し、万が一の災害時に備えます。災害時は、市の各関係機関との連携を図ります。
⇒防災マニュアル（大雨・台風・地震時の非常時の体制を確保）の整備
- スズメバチ・ヘビなどの危険小動物の発生時 ⇒ 立入り禁止措置や掲示板での周知徹底
- 急病者・けが人の発生時 ⇒ スタッフによる応急処置（普通救命講習・AED講習の受講）、
「事故発生時の緊急連絡網」の整備

<個人情報の適切な保護>

当社は、個人情報の安全管理について、個人情報の保護の重要性を認識したコンプライアンスを確立し、個人情報を正確かつ誠実に取り扱うことで、透明性の高い業務を遂行します。

- 個人情報を扱う責任者を所長にします。
- 「個人情報保護マニュアル」の整備、個人情報の取扱いに関する研修の実施

（２）実施業務の計画について

①指定管理業務

当社は、中村公園の公園特性（※(1)①に上述）を活かした新たな価値の創造を行ない、地元だけでなく広く市民に知られる魅力的な施設づくりを目指します。

<中村公園の歴史文化を堪能する取組み>（年12回[必須]）

名 称	開講月	内 容	場 所
日本の伝統文化講座①	4月	華道を学ぶ	記念館
春の新緑茶会	5月	フジの鑑賞と茶会	桐蔭茶席・豊頌軒

日本の伝統文化講座②	6月	茶道・和食の文化を学ぶ	記念館
夏の納涼茶会	7月	夏の納涼の茶会	桐蔭茶席・豊頌軒
こどもたちの寺子屋塾	8月	夏休みの自由研究	記念館
献茶会	8月	秀吉の命日の茶会	桐蔭茶席・豊頌軒
みどりの講座①	10月	樹木観察・剪定管理を学ぶ	記念館・公園
秋の紅葉茶会	11月	秋の紅葉鑑賞と茶会	桐蔭茶席・豊頌軒
音楽に親しむ会	12月	夜の演奏会と楽器を学ぶ	記念館・桐蔭茶席・庭園
日本の伝統文化講座③	1月	舞踊・伝統音楽を学ぶ	記念館
冬の菓籠茶会	2月	冬の花と茶会	桐蔭茶席・豊頌軒
みどりの講座②	3月	樹木観察・剪定管理を学ぶ	記念館・公園

<フジ・松の植物管理>

- フジ：剪定は、花を適切な時期にたくさん咲かせることに主眼をおき、「フジの名所 中村公園」の復活を目指します。
- 松：木ごとに担当を決め、指定管理期間中の長期的な管理を計画させることで、責任のある剪定作業を行ないます。

<魅力増進・サービス向上につながる公園経営>

- 季節に合った企画・専門性と話題性に富んだ企画による利用促進：
桐蔭茶席でのお茶会・講習会、「大人の寺子屋塾」、学生の卒業制作展等
- 3大名園「白鳥庭園・徳川園・中村公園合同 茶の湯イベント」の企画
- ご当地ゆるキャラの「ひできよん」（中村区夢づくり実行委員会）のイベント時の出陣
- 公園に末永く愛着をもっていただくための企画：
還暦や喜寿といった人生の節目のお祝い、結婚式、金婚式・銀婚式のお祝い
- 手作りの樹名板の設置
- ホームページ、Facebook、広報なごや、新聞・ラジオ等での情報発信

<地域やボランティア・他施設との連携>

- 「中村公園の歴史再発見ツアー」中村公園文化プラザと協働し、園内の史跡めぐりや豊国神社の宮司による講演会、記念館の見学会などを行ないます。
- 「歴史散策ウォーキング・スポーツイベント」中村スポーツセンターと協働し、5月のフジのお花見と中村区境界のウォーキング、ヨガ教室などを一同開催します。
- 「中村公園ガイドボランティア」中村公園振興会や豊国神社、中村まち歩きマイスターと協働し、新たに公園の歴史文化をPRしていくボランティアを育成します。

②自主事業

<中村公園の魅力アップにつながる自主事業>

- ◆ 「歴史散策ウォーキング・スポーツイベント」（5月）（※(2)①に上述）
- ◆ 記念館・桐蔭茶席での講習会（年12回[必須]に+5回の自主事業としての講習会）
 - 「大人の寺子屋塾」（2月）
 - 「日本の近代和風木造建築塾」（建築に興味のある学生・社会人対象）（6月）

- 「造園・日本文化講習会 造園乙女塾」(11月)
- 「中村のまちなか緑塾」(8月)
- 「中部ランドスケープ設計展」の開催の誘致(3月)

<中村公園の利用促進の秘策>

◆「白鳥庭園・徳川園・中村公園合同 茶の湯イベント」の企画：

共通入場割引券などのサービスを行ない、相乗効果による利用者数の増加を図ります。

◆「加藤清正公を大河ドラマに 愛知」事務局といった地域活性化の取組みを応援し、公園の活気につなげます。

◆「遊具の正しい遊び方教室」を地域の保育園・幼稚園を対象に企画します。

◆隣接する「名古屋競輪場」と、清掃活動や駐輪対策などで協力体制を築きます。

<収益事業の内容と運営方針>

当社は、中村公園の特性、施設の役割を踏まえた経営資源を探り、中村公園でしかできない魅力あるサービスを提供し、収益性の高い事業を企画・運営します。

①地域住民の皆さまと Win-Win の関係を構築した魅力的な収益事業

- 有名ホテル等とタイアップした記念館での結婚式
- 懐かしの地でもう一度 ～金婚式・銀婚式～
- 地域交流(まつり等)を大切にしたいイベント：ひょうたんをモチーフにした物販等
- 団体・企業が自主的に持ち込むイベント(公募型イベント)：記念館、桐蔭茶席での撮影会等

②「温故知新」～古きを知って新しい価値を創造することによる収益事業～

- 名古屋版ハロウィンコンテスト：和風の仮装大会、フォトサービス(有料)、記念館・茶室の開放、ケータリングカーでの販売
- 手作り市・フリーマーケット：神社仏閣の境内での市(いち)の歴史にちなむ。場所代を出店者から集金し、PRは岩間造園が行なう)
- 中村野外音楽堂：東京の日比谷公園の野外音楽コンサートに倣った、屋外ステージの新たな活用

③公園の魅力と利便性を高める収益事業

- WiFi サービスを搭載した自動販売機設置による利便性の提供

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<各年度ごとの提案総額>

平成28年度	46,000千円
平成29年度	46,000千円
平成30年度	46,000千円
平成31年度	46,000千円

<期間を通じた収支計画(指定期間を通じた項目別内訳)>

【収入】 (単位：千円)

区 分	金 額
指定管理料 (A)	198,720
収益事業還元金 (B)	1,500
収入合計	200,220
指定管理料提案額	184,000

【支出】 (単位：千円)

区 分	金 額
人件費	76,400
消耗品費、備品購入費等	3,920
光熱水費	32,000
清掃費	16,000
建物管理費	1,200
植物管理費	35,000
設備保守点検費	4,400
修繕工事費	11,100
講習会・展示会費	1,200
イベント・催事費	4,000
広報・宣伝費	3,200
記念館冷暖房機器設置	1,500
収益事業還元事業費	1,500
一般管理経費	8,000
租税公課等	800
支出合計	200,220

＜経費削減について＞

当社は、指定管理者の視点で、適正かつ効果的に管理運営費を執行し、目標を定めていくための管理運営会議（管理事務所と本部）で徹底的な検証を行ない、「費用対効果」の意識の向上と、コスト削減に向けた行動計画を策定します。

◆コスト削減のための3つの視点：「経費削減」「収入の拡大」「収益の還元」

＜具体的な経費削減策＞

- ライフサイクルコスト(LCC)マネジメントシステムによる経費削減
- 施設の長寿命化と設備の機能更新による経費削減
- マルチスタッフ化による労務費の経費削減
- 物件費等にかかる経費削減：バックヤードを使つての花苗の自前生産、他指定管理公園との資材の共同購入や共同利用（テント、テーブル等）
- 光熱費・省エネルギー対策による経費削減

＜具体的な収益還元策＞

項 目	還元率	具体的な還元
①自動販売機などの収益	70%	★花壇の整備費（花苗の購入）に還元。 ★小規模施設等の修繕費に還元。
②記念館における結婚式等の慶事サービス提供による収益	50%	★かまどベンチ等の防災機能の導入に還元。 ★ボランティアの活動に還元。
③フリーマーケットやコンサートの開催による収益	50%	★広報及びパンフレット作成・印刷費に還元。 ★公園の魅力アップにつながる事業に還元。